

区長所信表明(要旨) 1面つづき

とりわけ、二つの中間駅を含めた沿線地域のまちづくりをしつかりと進め、8号線延伸の整備効果を本区の発展に最大限結びつけることが、区にとつての重要な役割です。

そのため、沿線地域の基本的なまちづくりの方向性を示す「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」を本年3月に策定し、各駅周辺のまちづくりを順次進めていきます。

来年度は、(仮称)枝川駅周辺のまちづくりに取り組み、地域と行政がまちの将来像を共有しながら、一体となって、沿線のまちづくりを推進していきます。

令和5年度の主な取り組み等

水彩・環境都市づくり

新たな公園の整備

本区の豊かな河川や運河、親水公園などを効果的に活用し、水彩都市における賑わいや、環境に配慮したうらおいのある生活を実現していきます。

若洲公園のリニューアルにあたっては、経年劣化した風

車を撤去し、こどもが主役になる都内最大級の大型遊具と、公園からの温室効果ガスの排出量実質ゼロを実現する再生可能エネルギー設備を導入する「親子で過ごす江東区版ゼロカーボンパーク」を整備していきます。また、Park PFIを活用することで、民間活力の導入と財政負担の軽減を図っていきます。

(仮称)大島九丁目公園の整備については、区民と一緒にゼロからつくる公園をコンセプトに、区民参加イベントを行いながら、コミュニティ醸成につながる公園整備を進めていきます。



▲(仮称)大島九丁目公園整備イメージ

「ゼロカーボンシティ江東区」の実現を目指して

地球温暖化対策では、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにするためのロードマップとして、「ゼロ

カーボンシティ江東区実現プラン」を策定し、区民や事業者とともに取り組みを進めていきます。

資源回収では、容器包装プラスチックに加えて、新たに製品プラスチックの資源回収を令和5年10月より開始し、これまで燃やすごみとして出されてきたごみの減量を図ることで資源循環型社会の形成を進め、二酸化炭素排出量の削減を加速させていきます。

未来を創るこどもを育びまじづくり

子育て支援の充実と虐待予防

全国的に出生率が低下し、本区においても乳幼児人口が減少する中、少子化対策、子育て支援は一刻の猶予もない喫緊の課題です。

保育サービスの提供については、さまざまな緊急対策の実施により達成した「待機児童ゼロ」の継続に向けて、地域ごとの保育需要に応じた適切な定員確保策を講じていきます。

子育て家庭への支援では、区独自に所得制限なしで、18歳以下のこども一人につき3万円の子育てクーポン等を支給し、子育て世帯へのさらなる生活支援を実施します。

また、中学生までを対象としてきた子ども医療費助成を、所得制限なし、自己負担なしで、高校生相当まで拡大して実施します。

さらに、子育てで孤立しやすいひとり親家庭に対して、子育ての負担軽減や産後うつ

の未然防止を図るため、家事育児サポーターを派遣するサービスを実施します。

児童虐待対応では、区が目指す児童相談体制や児童相談所の基本理念、施設整備の基本的な方針などをお示しするため、「区立児童相談所基本計画」の策定に着手します。

ヤングケアラー等への支援体制強化

ヤングケアラーへの支援では、実態調査の結果を踏まえ、支援ネットワークの強化など、早期発見と、適切な支援につなげるための体制を強化していきます。

さらに、不登校やヤングケアラー等の状況にある児童・生徒への支援を強化するため、スクールソーシャルワーカーによる学校巡回型の支援体制を整備していきます。

子どもたちに豊かな学校生活を

豊かな学校生活を

教育施策では、成績優秀で学習意欲があるこどもが、家

庭の経済状況に左右されずに、学業に専念できる環境を整備するため、高校等へ進学する中学3年生を対象に、23区初の学資金を含めた区独自の給付型奨学資金制度を創設します。

部活動振興では、休日の活動を見直し、生徒がより主体的にスポーツ・文化活動に親しむことができるよう、文化コミュニティ財団、健康スポーツ公社と連携し、部活動の地域移行に向けた体制整備に取り組んでいきます。

また、物価高騰の長期化が見込まれる中、学校給食無償化の検討に着手するとともに、令和5年度も保育所等給食費および学校給食費における緊急支援を実施します。

地域の活力を生み出すまちづくり

地域の活性化と多様性社会を目指して

地域においては、コロナ禍で拍車がかかった地域コミュニティの希薄化や、活動を支える担い手の高齢化・次世代の担い手不足が深刻な課題となっており、さまざまな取り組みを連動させながら、地域コミュニティと地域経済の活性化を図っていきます。

あわせて、本区が差別や偏

見のない、多様性を認め合う社会となるよう、より一層、人権尊重の意識啓発に取り組むとともに、多様な性に対する理解を促進していきます。

まず、地域活動の推進では、コロナ禍でさまざまな地域イベントの中止や自粛が続いたことで、弱体化してしまった地域コミュニティの再生と活性化を図るため、新たな町会・自治会活動の支援を行っていきます。

また、コミュニティ活動支援では、協働を推進するための環境整備として、本年4月に「江東区ボランティア・地域貢献活動センター」を開設し、地域貢献活動団体等の活性化に努めていきます。

図書館サービスの充実

有明スポーツセンターのレストラン施設跡地を活用してこども向け図書館を整備するとともに、24時間どこからでも本を借りられる電子図書館サービスを導入します。



▲(仮称)有明こども図書館絵本コーナーイメージ

中小企業支援と地域経済活性化

中小企業支援では、引き続き融資あっせんにおける事業者の利子負担等の軽減を図り、コロナ禍や原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者の経営を支援していきます。

また、社会環境の変容による創業ニーズの増加に対応するため、セミナーの開催等、創業者への支援を拡充していきます。

商業振興では、プレミアム率30%の区内共通商品券を紙および電子で発行し、物価高騰等の影響を受ける家計の応援と、未だ回復途上である地域経済の活性化に取り組んでいきます。



▲電子商品券での支払いイメージ

渋沢栄一ゆかりの地を巡る観光イベント開催

観光施策では、「旧渋沢家住宅」の移築・公開に向けた機運醸成を図るとともに、令和6年度上期に